

SAN-Ai

社会医療法人 三愛会 広報誌「さんあい」

Vol.35



55th
ANNIVERSARY
今日のひたむきを、明日も。



ひとに笑顔を ちいきに“愛”を
社会医療法人 三愛会

社会医療法人 三愛会 広報誌「SAN-Ai」 Vol.35 (2025年4月1日発行)

発行元/〒870-1151 大分市大字市1213番地 TEL.097-541-1311 社会医療法人 三愛会 大分三愛メディカルセンター
社会医療法人 三愛会/www.san-ai-group.org/ 三愛総合健診センター/www.kenkou-oita.com



〔救急看護師〕

2次救急病院として、365日24時間、時間を問わず対応する。救急医や救急救命士と共に最前線にあたる。



〔外来看護師〕

平日には、平均350名超の患者が訪れる。問診から内視鏡の対応、検査説明など、多岐にわたる対応を行う。



〔病棟看護師〕

6つの病棟に、最大190床の病床。入院生活のケアをいかにアップデートしていくか。新人看護師たちの業務も、ここから始まる。



〔手術室看護師〕

看護師がいなければ、手術もまわらない。年間1,000件前後のすべての手術をサポートし、そのための専門的知識も高い。



〔訪問看護師〕

三愛会では、『三愛訪問看護ステーション』が計3か所の拠点を有する。利用者の心と身体の変化を注視し、医療・看護の側面からも支援している。



〔透析看護師〕

人工透析センターを有する大分三愛メディカルセンター。泌尿器科医師や臨床工学技士と連携しながら、透析患者のケアを行っている。



看護の現実の中に
プライドと理想を。

2020年の新型コロナウイルス感染症流行から、5年。この5年だけでも、新興感染症への対応や慢性的な人材不足、移り変わる地域のニーズへの対応、そして2025年問題（超高齢社会）である日本の人口構造が、さらに変化することによって発生する社会問題（…さまざまなことが医療業界にやってきた。それは看護の領域においても例外ではなく、時代に合わせた「変化」が求められている。

大分三愛メディカルセンターでも、これらの問題には直面し続けてきた。地域の病院として、また地域の2次救急を担う機関としての使命から、いかにプレッシャーを進めるか。医療の要である看護も、想定通りにはいかない現実が多々ある中で、それでも誇りを胸に目の前の患者たちに向き合っている。今号は感染対策やマンパワー問題、働き方改革など、大きな波を受けながらも日々、現場で地域医療を看続ける、大分三愛メディカルセンターの看護師たちを集める。

5つの分野で認定看護師が活躍中

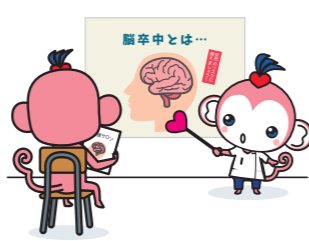
(2025年3月現在)

[感染管理]



医療機関内での感染対策に関するスペシャリストとして、施設の状態評価や、感染予防・管理システムを実践する。ICT(感染制御チーム)の要としても活躍中。

[脳卒中リハビリテーション看護]



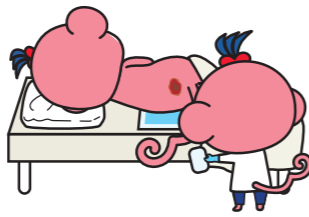
脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングやケアを担い、また早期にリハビリが開始できるよう介入するなどの機能回復支援を行う。地域住民への予防啓発なども積極的に行っている。

[糖尿病看護]



糖尿病全般に関する患者のマネジメント。フットケアなどの疾病管理や、療養生活の支援を行っている。大分三愛メディカルセンターではDia-CAT(糖尿病管理チーム)の活動も活発。

[皮膚・排泄ケア]



主に入院患者の褥瘡(寝たきりなどで皮膚が損傷してしまうこと)管理や、ストーマ(人工肛門など)、失禁などの排泄の管理をするほか、患者・家族の自己管理やセルフケア支援を行う。

[摂食・嚥下障害看護]



摂食・嚥下という、いわゆる「食べる」「のむ」に関する機能を管理、訓練する。誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水などの予防につなげる。「食」という、生活に欠かせない場面を看護する。



認定看護師・特定行為看護師の資格取得のための受講においては、大分三愛メディカルセンターが全面的に支援をしている(認定看護師資格取得支援制度)。

そのほかにも、さまざまな分野で医療現場を支える看護師たち

[慢性腎臓病療養指導看護師]

慢性腎臓病の看護現場における質向上のため、専門知識と技術で療養生活を支援。他の職種とも連携し、また看護全体への教育的活動にも積極的に取り組んでいる。



[認定看護管理者]

保健・医療・福祉の政策などの知識や組織管理に必要な理論、経営的な視点などを用い、組織分析を行い、サービス提供体制向上に尽力する役割を担う資格。



感染防護具の着脱方法を指導する感染管理認定看護師

「専門性」で力を存分に発揮する。

「質の高い看護を実践できる」ことを公的に認められた看護師、それが認定看護師である。特定の分野においてよりレベルの高いスキルを有する看護師」ともいえる。認定には厳密な審査があり、5年以上の実務経験を満たし、615時間以上におよぶ認定看護師教育の受講も必須で、さらに最終試験をクリアしなければならない。大分三愛メディカルセンターでは、現在5つの分野で認定看護師が在籍。それぞれの配属先で、現場の要として活躍し、専門領域で力を発揮している。院内の教育的な観点でも重要な役割を担っているスタッフたちだ。ほかにも、21ある認定看護分野とは別ではあるが、認定看護管理者(左ページ参照)として活躍する看護師や、たとえば慢性腎臓病療養指導看護師の資格を持つ看護師など、さまざまな人材が在籍している。

Information

2025年度第1回看護サロン開催
クライス形式でいっしょに！
あらためて糖尿病のことを考えよう！
日時 4月17日(木)午後2時~2時30分
場所 大分三愛メディカルセンター
1階アトリウム
参加費アンケートにお答えいただいた方(先着15名前)に粗品をプレゼント
くわしくはホームページまで
予約不要参加無料



参加者を前に丁寧に説明する認定看護師

大分三愛メディカルセンターでは、認定看護師たちが持ちまわりの「看護サロン」を開いている。2024年度では脳卒中講座やスキンケア講座、摂食嚥下(食べ方・飲み方)講座を院内で開き、地域貢献事業としても好評を得ている。他にも糖尿病サロンや、医師をはじめ多職種と共に実施する院内講座、依頼を受けて地域の公民館などで開く出前講座などを積極的にやっている。

看護サロン
認定看護師による
院内ミニ講座・出前講座

教育・研修制度

プリセプターシップ(新人教育係がマンツーマンで指導する)を導入し、「集合教育」と「現場の教育」を連動。新人の成長に合わせて、プリセプター研修を開催している。

1年目の場合 新人看護師・研修スケジュール

4月～

■入職・入社式

- 全職員合同オリエンテーション
- BLS研修
- 技術演習
- 安全管理研修
- 感染管理研修

医療事故が起らないよう、ダブルチェックなど、さまざまなポイントを実践で学ぶ。コロナをはじめ、感染症対策を学ぶ。

基礎知識や他部署の活動、接遇などの座学。
採血・静脈注射・輸液・シリンジポンプなどの実技・演習。
1週間程度でさっそく病棟へ配属となる。
先輩看護師(プリセプター)と共に実際の看護現場へ。

部署別オリエンテーション シャドーイング

5月～

- 1か月研修
 - 接遇研修
- 1か月を振り返り、現状の悩みや不安を抽出し、今後の解決へ。

6月～8月

- 3か月後研修
- ローテーション部署別研修

8月～9月

- 6か月後研修
- 半年を振り返り、また手術後の看護や麻酔について学ぶ。

10月～

- 夜勤導入
- 認定看護師による専門領域の研修

11月～12月

受け持ち看護師導入

1月～2月

- 1年目を振り返り研修

2年目も研修は続く

7月～

- 症例発表
- BLS研修

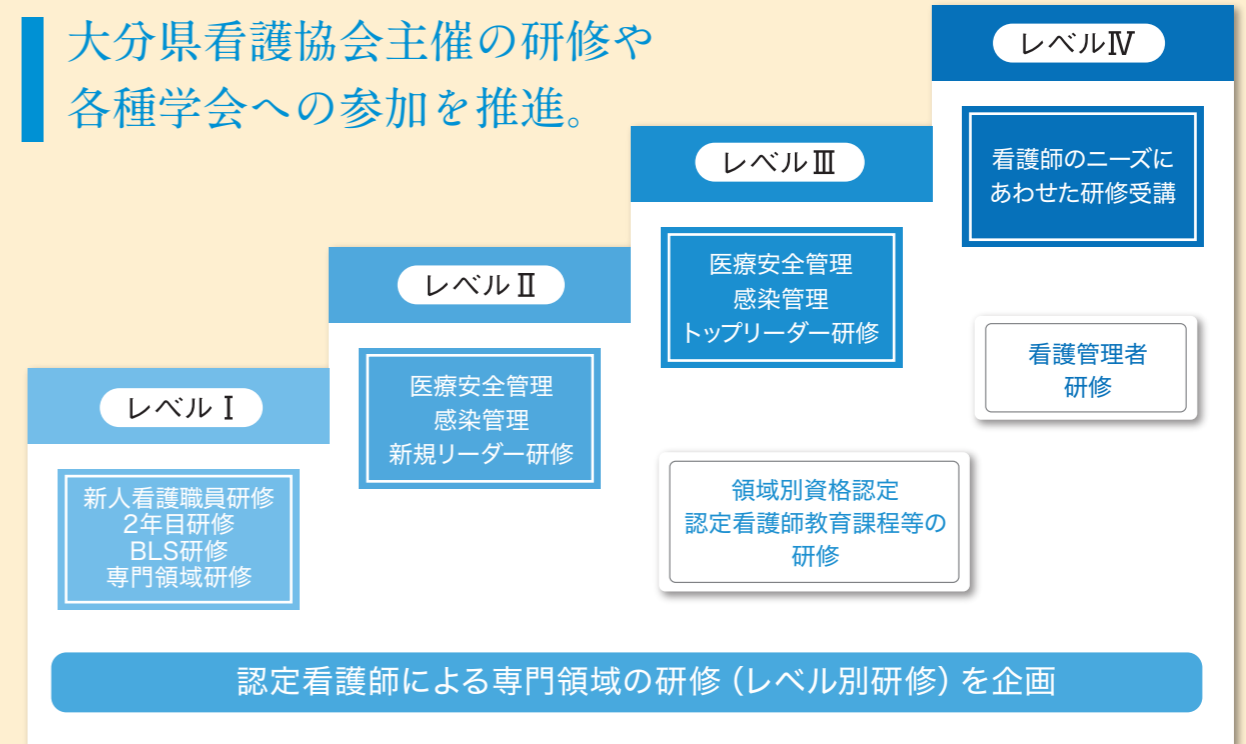
3月～

- 2年目終了研修

看護研修計画

クリニカルリーダーに沿った研修
看護実践能力を段階的に得られるように研修を企画している。

大分県看護協会主催の研修や 各種学会への参加を推進。



「三愛ならではの」ユニークな研修・講座も実績あり。

[接遇研修]



接遇講師を定期的に招いての講習。自身たちが接遇講師となれるよう、教育者を育てるという意味でも大切な研修。

[話し方講座]



ラジオパーソナリティーなどの「喋りのプロ」を招き、会話・コミュニケーション力の向上を楽しく学ぶ。

[メイク講座]



対面での接遇の際に、明るく清潔感のあるメイクの技術を学ぶ(三愛総合健診センターでの実績)。

[睡眠講座]



キッチンと休息がとれるよう、枕の選び方や眠りにつくときの良い睡眠のコツなどを学ぶ。夜勤が当然の看護師たちには必須の知識でもある。

[SNS研修]



スマホ時代のリスクマネジメント。専門知識を持った職員による、「炎上」回避の研修。





[心理的安全性]

誰でも率直な意見を言い合える
“恐れのない組織”に。

2024年7月に新院長となった中山尚登がよく口にする言葉に、「病院を心理的に安全性のある“恐れのない組織”にしたい」がある。組織やチームにおいて、「自身の意見や気持ちを安心して表現できる状態」を指す言葉だ。患者の命を委ねられている医療介護機関にとって、対人関係によるリスクは避けたい。スタッフの人間関係が患者・利用者
の安全に直結する世界だからこそ、医療安全といった観点からも、現在各業界で注目されている概念だ。

「チーム医療」を一つのストロングポイントとして捉えている大分三愛メディカルセンターにとって、「患者のために」を中心に据え、職種にかかわらず、いかに率直に意見を言い合えるか。恐れず、全職員が学習・成長していく組織にできるか。これを一つの大きな目標として、実行に移せるようシステムを構築している。

「各職種との距離が近い」。当たり前のように、なかなかそれができない現実もあるなか、「風通しの良い組織」は着実に組み上がっている。



[DX推進]

1か月間に約1,503時間の
作業時間削減に成功。

DX(デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を活用し、業務プロセスやサービス、組織文化などを変革すること)による業務効率化は、今後人材不足が懸念される医療業界の大きな命題である。社会医療法人三愛会では、各システム企業と連携してさまざまな業務システムを構築し、県外の病院からも注目されている。

一例を挙げると、RPA(Robotic Process Automation)は、ソフトウェアロボットを利用し、業務を自動化させる技術。業務をルーティーンワーク化してロボットに指示すると、その通りに動いてくれるというもの。現在の大分三愛メディカルセンターでの仕組みでは、時給118円で24時間365日、延々と働いてくれているスタッフがいることになる。たとえば、カルテから手書きでチェックや転記していたような作業を、夜間などに自動でまとめているため、朝にスタッフが出勤した時点で資料がすでにでき上がっている。こういった業務効率化がすでに実施されており、病院単体でも月に1,503時間の作業時間削減に成功している。

「職員の幸せ」と「安心して働ける」を 妥協せず貪欲に追求していく。



[全職員5連休制度]

働き方改革から休み方改革へ。
良い仕事は、良い休暇から。

「感染対策」「濃厚接触」という言葉に翻弄されたコロナ禍では、多くの医療スタッフが自宅待機、自宅療養を余儀なくされた局面があった。その際、「少ない人数で業務を遂行しなければならない」という問題に対して、さまざまな工夫で難局を乗り切る経験を得た。

そのノウハウを活かすことで、「全職員5連休制度」が2023年度より実現。定められた休日に5日間プラスして、ほぼ強制的に「5連休を取得する」仕組みが確立した。取得率は2023年度、2024年ともに100%で、それに付随してスタッフが休んだ分をフォローする体制も各部署でアップデートしている。良い業務パフォーマンスを実現するためには、良い休養が必要。働き方改革ではなく、「休み方改革」としてブラッシュアップを続ける。離職率も明らかな減少傾向をたどっている。



[法人内学童]

安心して預けられるから、
業務に集中できる。

2024年3月末より、三愛学童「アイ・ステップ」を開設。福利厚生充実の一環として、いわゆる「小1の壁」(子どもが小学生に上がると、仕事と子育ての両立が難しくなる社会問題)を打破すべく、親子ともに利用しやすい環境の児童預かり施設を展開。この施設をきっかけに入職を検討するスタッフも増えてきており、長期休暇などは1日に40名近い利用があるなど、需要の高さを感じられる。なにより、「安心して働ける環境」という目的が遂行でき、社会医療法人三愛会の福利厚生の新たな目玉サービスとなっている。

2024年度は総計53名の児童が利用。2025年度は68名に増加し、年間利用者(基本的に毎日利用する児童)も15名に倍増。現状の体制で対応できる限界の人数にまで需要が達している。大前提である「安全安心の預かり」をキープしつつ、将来の外部児童受け入れに向けても検討を続けている。

※働き方改革・休み方改革・福利厚生の一例です。

外国籍職員の積極採用 法人内で計15名の外国籍職員が勤務。 人材不足時代の貴重な戦力として病院をサポート。	副業・兼業OK それぞれの働き方・考え方に合った仕事ができる。	感染症休暇対応 感染症に罹患しても欠勤とならないように配慮。	女性活躍 幹部への昇進の機会が男女平等となるように。	各種休暇制度 育児・慶弔・看護・介護休暇などの他、時間単位休暇制度など。	交通費支給 情勢に合わせて交通費UP。遠方からの出勤を考慮。	女性用社宅 病院から徒歩圏内に女性用の社宅を完備。	産休育休制度 出産予定日6週間前から産後8週間。育休は約1年間。	各種祝い金支給 出産・入学・結婚手当・育児手当など。	時短勤務 子育て世代に、小学校1年生まで対応。	男性の育児休暇推進 男性の育児参加を積極的に推進。実績も増加中。	残業時間削減 業務効率化で「休み方改革」という観点を。
学童保育 職員の都合に合わせての預かりを実現。	マイカー通勤OK 自家用車はもちろん、バイクや自転車での通勤もOK。	賞与年3回 夏・冬・年度末で合計3.9倍(2024年度実績)を支給。	職員食堂・カフェ イベント会場にもなる大分三愛メディカルセンター職員食堂・カフェ「Pace」。	退職金制度 3年以上継続勤務した職員へ支給。	永年勤続手当 10年から5年単位で表彰し、手当を支給。	教育制度の充実 ラダー・研修・資格取得・学会参加など、研鑽のために。	DX化 業務効率化のために最先端技術を駆使。	外來時間短縮 新年度より、働き方改革の一環として時間を変更。	5日連続休暇取得 5日間連続した休暇を必ず取得するよう推進。	積極採用 さまざまな人材を積極的に採用し、組織を多彩・強固に。	

社会医療法人 三愛会・大分三愛メディカルセンターの働き方改革・休み方改革・福利厚生



〔社会医療法人 三愛会〕

大分三愛メディカルセンター・三愛総合健診センター

所在地	〒870-1151 大分県大分市大字市1213番地
TEL	097-541-1311
FAX	097-541-5218
病床数	190床
診療科	脳卒中センター、消化器病・内視鏡センター、運動器センター、救急外傷センター(ER)、人工透析センター、画像診断センター、リハビリテーションセンター、救急科・外科・消化器外科・心血管外科・呼吸器外科・乳腺外科・大腸肛門外科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科(人工透析)・形成外科・内科・総合診療科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・糖尿病内分泌内科・リウマチ科・神経内科・放射線科・リハビリテーション科・皮膚科・病理診断科・麻酔科
専門外来受付	8:15~11:00/13:30~16:00 ※土曜日は、新患の方のみ 8:15~10:00となります。 ※診療開始時間は診療科によって異なります。
休診日	日曜日・祝日・土曜日午後 ※但し、救急・時間外診療は24時間体制です。
認定施設	二次救急指定病院、大分DMAT指定病院、DPC対象病院、日本医療機能評価機構認定病院
HPアドレス	san-ai-group.org



介護保険相談センター さんあい

(大分三愛メディカルセンター内)	
TEL	097-542-7409
サービス	居宅介護支援、介護予防居宅介護支援

三愛訪問看護ステーション

(大分三愛メディカルセンター内)	
TEL	097-541-7007
サービス	訪問看護、介護予防訪問看護

のつはる診療所

所在地	〒870-1203 大分市大字野津原906番地の1
TEL	097-588-1311
診療科目	外科・内科・整形外科・循環器内科・リハビリテーション科
病床数	19床
サービス	通所リハビリテーション(デイケア)、介護保険相談センター
HPアドレス	notsuharu-san-ai.com/



三愛呼吸器クリニック

所在地	〒870-1143 大分市田尻419-1
TEL	097-541-2588
診療科目	呼吸器内科・内科
サービス	呼吸リハビリテーション
HPアドレス	kokyu-oita.com



たばるクリニック

所在地	〒870-1154 大分市大字田原936番地1の1
TEL	097-541-2345
病床数	19床
診療科目	外科・内科・消化器外科・リハビリテーション科 整形外科
サービス	訪問看護ステーション
HPアドレス	tabaru-san-ai.com



介護老人保健施設 たばる

(たばるクリニック併設)	
TEL	097-542-4139
サービス	入所サービス、短期入所療養介護(ショートステイ)、通所リハビリテーション(デイケア)
HPアドレス	tabaru-san-ai.com/rouken



グループホームたばる

(たばるクリニック併設)	
TEL	097-541-5298
サービス	入所サービス
HPアドレス	tabaru-san-ai.com/grouphome



介護老人保健施設 わさだケアセンター

所在地	〒870-1151 大分市大字市字大坪11番地の2
TEL	097-541-6655
サービス	入所サービス、短期入所療養介護(ショートステイ)、通所リハビリテーション(デイケア)、訪問リハビリテーション
HPアドレス	wasada-care-center.com



有料老人ホーム さんさん

所在地	〒870-1151 大分市大字市566番地の3
TEL	097-529-5580
サービス	住宅型有料老人ホーム (三愛学童「アイ・ステップ」併設)

さんあいヘルパーステーション

(有料老人ホームさんさん内)	
TEL	097-529-5582
サービス	訪問介護、介護予防訪問介護

〔社会福祉法人 三愛会〕

特別養護老人ホーム そうだ藤の森

所在地	〒870-1123 大分市大字寒田202番地
TEL	097-567-8822

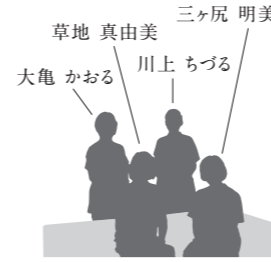
天領ガーデン・ふれあい館

所在地	〒870-1143 大分市大字田尻高尾783-1
TEL	097-578-7122

特別養護老人ホーム 天領ガーデン

(天領ガーデン・ふれあい館内)	
TEL	097-574-7500

2025年度 看護部あいさつ 地域医療を支える使命感を育む。



社会医療法人三愛会法人看護部長として4年目を迎え、法人内12の事業所における地域包括ケアシステムの推進に注力しています。VUCA®の時代、社会環境が急速に変化する中で、看護師一人ひとりが主体的に行動できる「自走する組織」の構築を目指し、人材育成に力を入れています。また、DXの推進で業務と情報共有の効率化を目指しています。これら法人全体での施策により、地域の医療・介護機関との連携を深め、ワンランク上の医療サービス提供を実現してまいります。

法人キャッチコピー「ひとに笑顔を ちいきに愛を」を忘れず、地域の方々から多くの支持を得ることで、「愛される法人看護部」でありたいと考えております。

社会医療法人三愛会
法人看護部長・認定看護管理者 草地 真由美

昨年7月より、大分三愛メディカルセンターの副院長兼看護部長に拝命されました(2018年～看護部長)。地域医療における当院の役割を認識し、地域の皆さんが安心して暮らせる医療環境の提供に向け尽力してまいります。

当院では「思いやりのある看護」の実現のため、患者さんに寄り添った温かい看護の提供を最優先としています。また、看護スタッフがやりがいを感じ成長できる環境を整え、良質な医療とともに働きやすさも追求し続けます。医療スタッフ間での連携を強化し、地域の皆さんに信頼される病院として、より一層貢献していく所存です。

大分三愛メディカルセンター
副院長・看護部長 三ヶ尻 明美

大分三愛メディカルセンター看護部教育担当副部長として、スタッフ教育体制の構築に力を入れています。近年、外国籍の看護補助者の雇用を推進しておりますが、文化的な多様性を尊重し、多面的な看護ケアを提供できるよう大切に教育しています。

また患者さんが安心して治療に臨めるよう、入院前の段階から不安の軽減に努め、必要な情報を多職種で事前に共有することで入院準備をサポートしています。

このような取り組みを通じて、地域の病院として、スタッフの育成と地域医療への貢献を目指して努力してまいります。

大分三愛メディカルセンター
看護副部長 大亀 かおる

2025年4月より、大分三愛メディカルセンターの看護副部長に就任いたしました。今後は脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の経験を活かし、患者さんの回復を支援し、看護の魅力を広く伝えていきたいと考えています。

看護部のビジョンに沿って、看護現場でそれらを具現化していきます。また、2025年問題と言われるその年を迎えた今、スタッフの定着を図るため、「働く側の幸せ」を大切にし、チームの結束力を高めてまいります。

大分三愛メディカルセンター
看護副部長 川上 ちづる
認定看護師(脳卒中リハビリテーション看護)

※VUCAとはVolatility(変動性)・Uncertainty(不確実性)・Complexity(複雑性)・Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取った造語で、社会やビジネスにとって、未来の予測が難しくなる状況のことを意味します。